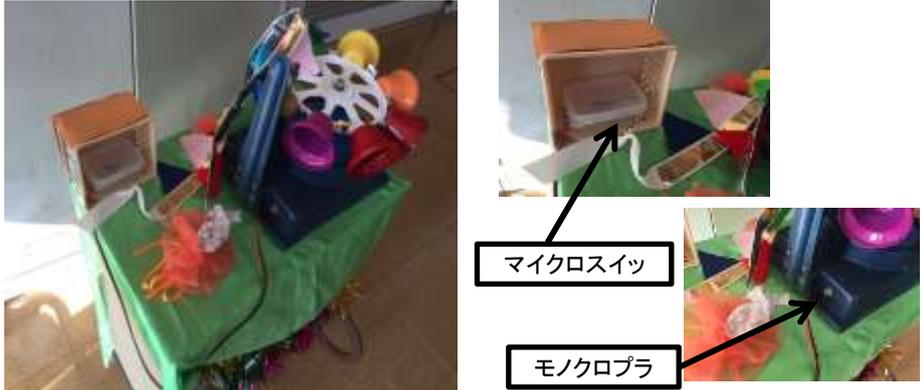


「教材・教具説明書」

小学部

教材・教具名	紐スイッチ
対象児童・生徒	小学部重複障害学級 1年
教材教具写真	
作製・制作のねらい	<p>本児は、自分で腕を前後左右に動かしてサイコロを転がしたり積み木を倒したりして楽しむことができる。しかし、可動域が狭くイメージ通りに身体の動きをコントロールすることが難しく、指先の微細な動きを伴う玩具の操作は経験が少ない。そこで紐を引っ張ると音が鳴るという因果関係を理解して、自分で意図的に玩具の操作ができることをねらって、紐スイッチを作製することとした。</p>
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>①モノラルプラグのカバーをはずし、平行コードを通す。</li> <li>②平行コードの一端に縦の切り込みを入れコードを裂き、黒・赤それぞれ約1cm被覆だけを取り除く。芯線を切らないように注意する。</li> <li>③モノラルプラグの端子に②で裂いたコードを通し、はんだ付けをする。(短い端子は黒コード、長い端子に赤コード)</li> <li>④モノラルプラグにカバーを戻す。</li> <li>⑤タッパー(小)上部・側面の端と底の中央部に、ドリルで穴を開けカバーを作る。</li> <li>⑥⑤の穴(上部)にモノクロプラグの一端を通し、②同様被覆を取る。</li> <li>⑦マイクロスイッチの端子に⑥で裂いたコードを通し、はんだ付けをする。</li> <li>⑧マイクロスイッチに導線をつけて紐をくりつけ、穴(側面)を通す。</li> <li>⑨マイクロスイッチとタッパーを導線で固定して蓋をする。</li> <li>⑩導線の先に、用途に応じた長さのリボンをつける。</li> </ol> <p>参考資料:「平成27年度皆与志養護学校夏期講座教材・教具製作実習」身近な物をスイッチ化」</p>
教材教具の効果	<p>STEP1:教師が紐を引っ張り音を鳴らすのを見る。          ・教師が「うんとこしょどっこいしょ」と紐を引っ張る様子を見て楽しむ。          ・音が鳴ると顔を上げ、表情を変える。</p> <p>STEP2:教師と一緒に紐を引っ張り音を鳴らす。          ・「うんとこしょどっこいしょ」の掛け声とともに引っ張る。自発的な動きはでない。掛け声で身体の動きを引き出せるように繰り返し取り組む。&lt;学習発表会練習の様子&gt;</p> <p>STEP3:教師が肘を支えると、自分で腕を上げて紐を引っ張り音を鳴らす。          ・具体的に、動かす身体部位を示すようにした。「腕を曲げて上方向に肘を上げる」と指さしや身振りサインで促す。教師が腕を支えると「うんとこしょどっこいしょ」の掛け声で腕を上げることができた。</p> <p>STEP4:自分で紐を引っ張り音を鳴らす。          ・動きが表出するまで時間はかかるが、自分で動かすことができた。褒められることで達成感を味わえた。</p> <p style="text-align: right;">「自分でできたよ」</p> 
今後の課題・改善点	<p>使用を始めて約1ヶ月。腕を動かすと音が鳴るとの関係性は理解してきている。しかし、玩具そのものが興味関心の高いものではなく、課題として取り組むことはあっても反応を楽しみ繰り返し取り組むといった意欲は得られていない。自分から積極的に操作したいと思えるような玩具を見つけ出し、活動意欲を引き出していきたい。また人との関わりから、物を介したコミュニケーション活動へとスキルアップを図りたい。</p>